

THE OFFICIAL COINS OF THE ATHENS 2004 OLYMPIC GAMES

< 報道用資料 >

平成16年6月30日
泰星コイン株式会社

ギリシャ国立造幣局 鑄造

アテネ2004オリンピック競技大会 公式記念コイン（最終販売）

7月5日（月）より国内予約販売開始

泰星コイン株式会社（本社：東京 / 社長：岩村 徹）は、ギリシャ国立造幣局鑄造、ギリシャ国立銀行発行の『アテネ2004オリンピック競技大会公式記念コイン（最終販売）』の日本国内での予約販売を全国の主要金融機関などを通じて7月5日（月）より開始いたします。

この記念コインプログラムは“第1次販売”と“最終販売”とで構成されます。今年1月に発売した第1次販売（金貨3種、銀貨6種）に引き続き、今回最終販売として新たなデザインで金貨3種、銀貨6種が発行され、第1次販売と今回の最終販売を合わせた金貨6種、銀貨12種でこの記念コインプログラムは完結します。

発祥の地ギリシャ / アテネに戻ってきた21世紀最初の夏のオリンピックがいよいよ始まる

いよいよ開催が目前となった<アテネ2004オリンピック競技大会>。オリンピック発祥の地ギリシャ / アテネに戻ってきた21世紀最初の夏のオリンピックとして世界中の期待が高まっています。今年1月に発売した第1次販売も大変好評で販売枚数は対日割当数にほぼ達しました。

今回の最終販売では新たなデザインで金貨3種、銀貨6種を発行します。

価格は、100ユーロ金貨3種《第1回オリンピック村》《アクロポリス》《アテネ学士院》が各81,900円、これらの金貨3種セットが245,700円、また10ユーロ銀貨6種セット《新体操》《水泳》《重量挙げ》《レスリング》《ハンドボール》《サッカー》は50,400円（金融機関割当分の銀貨はセット販売のみ）（いずれも消費税込）となっております。

裏面は第1次販売と共通の大会公式ロゴマーク

コインの裏面には大会の公式ロゴマーク《オリーブ枝の冠とオリンピックシンボル》を採用しました。これは第1次販売と同じ、この記念コインプログラムを通じて共通のデザインです。

古代オリンピックで勝者に授けられたオリーブの冠は、純粋な榮譽のためだけに戦うオリンピック精神の象徴です。

オリンピックの起源であるギリシャ / アテネならではのデザイン

表面デザインは金貨3種が《第1回オリンピック村》《アクロポリス》《アテネ学士院》。いずれもオリンピックと深い関わりのあるアテネで重要な役割のある建造物です。また、銀貨6種は第1次販売と同じデザインコンセプトで、それぞれの種目の現在と過去（現代と古代の競技者の姿）を重ねて表現。オリンピックの象徴であり、その精神を今に残すギリシャ / アテネならではのデザインとなっています。

いつまでも変わらないオリンピック精神とともに永遠に残るコイン

100ユーロ金貨は品位99.9%の純金で、10ユーロ銀貨が92.5%となっており、鏡のように美しく磨いた鏡面仕上げ=プルーフ加工で、ギリシャ国立造幣局の優れた技術と格調高いデザインで申し分のない仕上がりとなっています。



最終販売

THE OFFICIAL COINS OF THE ATHENS 2004 OLYMPIC GAMES

アテネ2004オリンピック競技大会 公式記念コイン（最終販売） 発売概要

販売価格

A . 100ユーロ金貨 < 第1回オリンピック村 >	81,900円
B . 100ユーロ金貨 < アクロポリス >	81,900円
C . 100ユーロ金貨 < アテネ学士院 >	81,900円
D . 100ユーロ金貨 3種セット(A B C)	245,700円
E . 10ユーロ銀貨 6種セット()	50,400円

いずれも税込み価格です。
すべて特製ケースと発行証明書を添付します。
金融機関割当分の銀貨はセット販売のみです。

規格及び発行限度数

	100ユーロ金貨 (A B C)	10ユーロ銀貨 ()
品位	99.9%	92.5%
重量	10.0g	34.0g
直径	25.0mm	40.0mm
状態	プルーフ	プルーフ
発行限度数	各28,000枚	各68,000枚
対日限定数 内(金融機関販売数) (一般販売数)	各5,000枚 (各4,000枚) (各1,000枚)	各7,000枚 (各5,000枚) (各2,000枚)
デザイン	第1回オリンピック村・ アクロポリス・アテネ学士院	新体操・水泳・重量挙げ・ レスリング・ハンドボール・サッカー

プルーフとは表面を鏡のように美しく磨いた特別仕上げです。

発売開始日 平成16年7月5日(月) 全国一斉発売開始
 鑄造 ギリシャ国立造幣局 発行 ギリシャ国立銀行
 輸入元 泰星コイン株式会社

『アテネ2004オリンピック競技大会公式記念コイン』の売上げの一部は、(財)日本オリンピック委員会を通じて、日本選手派遣・強化またはオリンピックムーブメント推進の一助として役立てられます。

本件に関するお問合せ先

「アテネ2004オリンピック競技大会公式記念コイン」事務局(泰星コイン内)
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-9-4 西野金陵ビル4階
 TEL 03(3297)8228 担当/本田・馬場・庄司・砂川
 FAX 03(3297)8227 E-mail: secretariat@taiseicoins.com

THE OFFICIAL COINS OF THE ATHENS 2004 OLYMPIC GAMES

アテネ2004オリンピック競技大会公式記念コイン(最終販売) デザインと解説-1

金貨・銀貨共通裏面



金貨・銀貨共通の裏面は、第1次販売と共通のアテネ2004年オリンピック競技大会の公式ロゴマーク《オリーブの冠とオリンピックシンボル》です。その外周を、ユーロ地域コインの象徴である12の星が囲み、さらにギリシャ国立造幣局の象徴「忍冬(にんどう)唐草」と額面(金貨100ユーロ、銀貨10ユーロ)を刻みしました。

大会公式ロゴマーク 古代オリンピックにおいて、勝者には聖なるオリーブの枝を編んだ冠を授け、その純粋なる栄誉を讃えました。そのオリーブの冠が、アテネ2004年オリンピック競技大会の公式ロゴマークとして甦りました。



表面

金貨

A. 第1回オリンピック村



芸術、農業、産業の振興のため、1874年から1878年にかけて建築家セオフィロス・ハンセンのデザインにより建設された国際会議場、展示場。寄進者ザッパス兄弟の死後、その名にちなんでザペイオンと名付けられました。1896年アテネで開催された第1回近代オリンピックでは「オリンピック村」として選手が宿泊し、また室内体育館としてフェンシングなどの競技に使われました。現在は、オリンピック期間中を「聖なる休戦」として、紛争当事国に休戦や緊張緩和を働きかける「国際オリンピック休戦センター」の事務局も置かれています。

B. アクロポリス



1987年に世界遺産に登録されたアテネのアクロポリス。古代ギリシャの諸都市にあったアクロ(=高い)ポリス(=都市)の中で最も代表的なものがアテネで、ペリクレス時代(紀元前495~429)に現存のパルテノン、エレクテイオン、アテナ・ニケ神殿などが建てられました。1687年ベネツィア郡の侵攻によりパルテノンは大破、19世紀からの大掛かりな修復作業で現在の姿となりました。ドリス様式建築の最高傑作であり、世界の古代遺跡の中でも別格といえるパルテノンには女神「アテナ」が祀っており、アテネの守護神としてこのアクロポリスと共に古代からその足下に横たわる都市アテネの歴史のすべてを見守ってきました。パンアテナイア祭のオープニング、松明競争ではアクロポリスがゴールとなっていました。

C. アテネ学士院



学士院は、芸術と科学の振興を使命とする近代ギリシャ最高の知的機関です。1926年に開所、「精密科学」「美術と文学」「道徳と政治学」の3つの分野があり、65名の正教授・準教授が在籍し、任期1年の理事会によって運営されています。建物はデンマークの建築家セオフィロス・ハンセンによりデザインされ、シモン・シナス男爵の寄付により1859年に建設開始、1887年に完成しました。建物前の階段部分には古代ギリシャを代表する大哲学者、左にソクラテス、右にプラトンの坐像が並んでいます。

アテネ市は近代オリンピック復活の地として、オリンピックは運動競技イベントであると共に、知的・文化的活動が伴わなければならないと考え、金貨のデザインに採用しました。

THE OFFICIAL COINS OF THE ATHENS 2004 OLYMPIC GAMES

アテネ2004オリンピック競技大会公式記念コイン(最終販売) デザインと解説 - 2

銀貨

銀貨のデザインは、それぞれの競技種目の現在と過去、つまり近代競技のアスリートに古代の競技者の姿を重ねて表現しました。古代競技者は、ギリシャ古代遺跡に見られる大理石の飾り板や浮き彫り、テラコッタをはじめとする発掘物をモチーフにしました。古代の歴史と近代の躍動感が見事に融合したデザインです。



新体操

前景には、多彩なりボンを持って優美で華麗な演技をする近代の競技者、後景には古代の女性2人が一連の曲芸を演じています。



水泳

前景には飛び込み台から飛込もうとしている近代の女性水泳選手、後景には古代の銅小像に刻まれた水中に飛び込もうとしている女性選手が浮き彫りにされています。



重量挙げ

前景には近代の重量挙げ選手が立ち上がってバーベルを持ち上げる瞬間の動作を、後景には古代選手が2つの自然石を持ち上げようとしているところを描いています。



レスリング

前景には近代競技者が相手方の胸を持ち上げグラウンドに投げつけようとする体勢と、後景には2人の古代競技者が、互いに相手の腕を抱え頭を押し合う様子が描かれています。



ハンドボール

前景には、近代競技者が手にあるボールを目標に向かって投げようとし、後景には、古代競技者がボールを今まさに投げようとしている絵が刻まれています。



サッカー

前景の近代競技者はボールを蹴る準備体勢にあり、後景の古代競技者は、サッカーの起源と言われるハルパストゥームを描いています。